

# 平成 28 年度第 4 回麒麟のまち創生戦略会議議事概要

日時 平成 29 年 2 月 20 日(月) 午後 3 時～4 時 30 分  
場所 若桜町公民館1階 集会室  
出席者 鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、  
八頭町長、香美町副町長、新温泉町副町長

## 議事概要

### 1. 開会

《鳥取市長》

日頃より皆様方には大変お世話になっており、改めまして感謝を申し上げます。今月 7 日に大阪で麒麟のまちの試食会で大変お世話になった。4 月のオープンに向けて、一緒になってこの情報発信拠点の整備に取り組んで行きたい。また、麒麟獅子舞の日本遺産で、今月 6 日、文化庁の副大臣お願いをしてきた。1 回目で認定にならなかったところが 10 か所くらい出るとのこと。競争が厳しいが、引き続き、みなさんと一緒になって日本遺産も頑張っていきたい。

### 2. 議題

#### (1) 新たな広域連携促進事業(総務省委託事業)について

- 麒麟のまち圏域産業構造分析等業務報告《山陰経済研究所》資料 1-1
- 麒麟のまち圏域産業構造分析等業務報告(概要版)《山陰経済研究所》資料 1-2
- 概要版「IV-3.今後の方向性」関連資料《山陰経済研究所》資料 1-2 関連資料

#### 意見・質疑応答

《鳥取市副市長》資料の「数字」と「提案事業」の違いは。

《鳥取市》 「数字は」定住自立圏で取り組んでいる事業。「提案事業」は今回の調査で提案されたもの(概要版 P47)をそのまま分野ごとに掲載したもの。

《鳥取市副市長》定住自立圏の事業と今回の調査で提案されたものとまとめたものということ。これは例示の段階。今後、一緒になって検討していくのかなと思う。

#### (2) 連携中枢都市圏形成に向けて想定されるスケジュール(案)について

《鳥取市》資料 2

- ・あくまで想定であり、最短のパターン。
- ・今後、どのような形で連携中枢都市圏を形成していくのかは議論をさせていただいて進めていくこととなる。

《鳥取市副市長》鳥取市として、鳥取市 2 月議会に「中核市への申出」を提出していいか提案する。その後、県議会に諮られ 7 月に総務省へ申請することになる。その後、平成 30 年 4 月に中核市へ移行することとなるので、このスケジュールが示された。

《八頭町長》ビジョン策定・公表は連携協約が締結された後にするものか。担当課長等の P T でされるものではないのか。

《鳥取市》 言われたとおり、ビジョン策定案は、担当課長等のPTで議論する。その後、ビジョン懇談会で民間の方を含め意見をいただき、事業を決定し原案を作成する。連携協約締結後でなければビジョン策定・公表はできないこととなっているので、ビジョン策定・公表までに十分な議論をいただいて、ここで決定することとなる。

《岩美町長》 前回欠席をしたが、副町長から復命を受けている。第一に市町村合併につながるという強い思いを持つ議員がいる。中心市以外の周辺自治体に、定住自立圏と違ったメリットがどれほどあるのか。今回、提案された事業は具体的なものもあればそうでないものもある。中身がわからないものが大半である。中核市になる鳥取市が、圏域を含めた住民サービスをどういう形で提供するのか。それには相応の負担を求められることになると思う。これらの部分で（連携中枢都市圏への移行が）しっくりこない。香美・新温泉は県境をまたいでいる。豊岡市と連携する部分もあると思う。二重にはできないだろう。連携する事項も限られる。

八頭町長が言われたように、事業が決定してからビジョン策定・公表をすることには違和感がある。

それぞれの町にとっても広域連携はメリットがあるという前提で向かっているので、いろいろと勉強をしなければならない。スケジュールを示される気持ちも十分理解するが、もう少し詰めた話・説明を受けながらでなければいけない。保健所の問題は終わったが、住民に説明するのに非常に困っているのが実情。

《若桜町長》 事業の中身が見えないので、すぐに理解することが難しい。これから中身を詰めていくことも大事。

《智頭町長》 連携中枢都市圏を理解するのは正直難しいが、どこかでスタートしないといけない。こういうことを議論しても、なかなか全員が「そうだ。そうだ。」といかない部分が出てくる。むしろ、私は、スタートして歩きながら走りながら議論を深めていく部分、修正する部分が特に必要になってくると思う。そうなると、市長がリーダーシップを取ることになる。それは、暴君になって「これでいく。」ということではなく、それぞれの町が持つ個性に合うように軌道修正を行うというリーダーシップを発揮してほしいということ。歩きながら走りながら、例えば、「この事業のこの辺を考えていただきたい」と、修正する部分も必要。走りながらやっていくことに期待している。

《八頭町長》 メリット・デメリットの部分が一番だと思う。これからになると思うが、具体的なところを明記していただくことが必要。定住自立圏の事業プラス今回の提案事業が一覧になっているが、具体的な事業の中身を我々にも示していただきたい。

《新温泉町副町長》 アンケートの結果を見て、この圏域は、県境を越えているとは言え、経済的な部分でのいろんな繋がりが強いと思った。連携できる事業についても、現実、今の定住自立圏でも、すべてがというわけにはいかないのが、兵庫県に位置する新温泉町としては、中身を見て、メリット・デメリットを検証する中で、今の定住自立圏と同じ形での進め方が、連携中枢都市圏になっても必要ではないかなと感じた。

《鳥取市長》 智頭町長が言われたように、歩きながら走りながら考えていく、検証していくことが非常に大切。本市は中核市への移行を準備している。中核市への指

定を受けることが目的ではなく、市がこれからも将来、立ち行くように一つの礎を築く過程に過ぎない。この協定を締結し、連携中枢都市圏を形成することが目的ではなく、歴史、文化、生活圏を同じくするこの圏域が魅力にあふれ、次の世代まで立ち行く様な基盤を作るためのひとつの手段・手法に過ぎない。

中核市への移行も、連携中枢都市圏を形成したとしても、国内外が日々目まぐるしく変化している。その都度その都度、このように議論をさせていただきながらいろんな選択をしていくということではないか。P47については、これはあくまで（案）。引き続き、この圏域にふさわしい項目がある。観光、医療、福祉、介護、いろんな面でこの圏域で取り組んでいくと効果的なものがあると思う。一つの契機としてはどうかと考える。

《鳥取市副市長》これから説明のある観光や麒麟のまちのように、少しずつ連携が見えてくるものもある。

議員に説明できるように積み上げていきたいと思っている。そういうものが具体的に見えて、少しでも成果が見えて、議会にも説明できるような具体例を作っていきたいと思う。

### (3) 平成29年度連携事業(案)及び事業費内訳について

《鳥取市》資料3

#### 意見・質疑応答

《鳥取市副市長》一番取り組みやすいのが、広域観光連携。平成29年度は観光振興、移住促進事業を加速させていこうということ。

《岩美町長》これは総合戦略の事業か。

《鳥取市副市長》そのとおり。

《岩美町長》インバウンドは飛行機も、客船も、鳥取県西部から島根に流れていく。東側は鳥取砂丘で止まるという実態がある。やはり、神戸空港や関空から城崎・豊岡から鳥取砂丘を目指してくるようなルートをしっかり取り組むべき。

《鳥取市》鳥取県を訪れる訪日外国人の利用する空港は40%が関西国際空港である。15%が米子空港。鳥取市が実施している外国人の専用タクシーもある。昨年度2000件の利用者数があったが、今年度は1800件。関西国際空港のお客さんということもあるので、やはり関西圏からの取り込みをどうやればいいのかということが課題になる。平成29年度、新たにDMO設立を進め、このDMOが主体となって新たな戦略を圏域で図っていくことで事業計画を進めたい。平成29年度は鳥取市でOCAT―鳥取間のバスの運賃助成に取り組むが、こうした取り組みを拡大しながら関西からの集客も図りたい。

引き続き、新たなDMOが圏域での戦略を具体的に立てながら取り組んでいきたい。

《岩美町長》城崎温泉には外国から多く来ているが、そのまま引き返してしまっている。

《鳥取市副市長》重点を置いて取り組みたい。

### (4) 「麒麟のまち」関西情報発信拠点について

《鳥取市》資料4

《鳥取市副市長》いよいよ4月10日オープンということで、日程の調整をしていただきたい。具体的な年間スケジュール等はこれから詰めていくのか。

《鳥取市》具体的なスケジュールは地域商社が準備をしているところなので、追ってお願いやご紹介を差し上げたい。

《鳥取市長》ぜひぜひいろんな知恵を絞っていただき、活用していただければと思う。

## 5 麒麟獅子を生かした日本遺産認定について《鳥取市》資料5

《若桜町長》件数が多いので、認定されるのは難しいか。

《岩美町長》いつでも見られるというのは、キリコ会館のようなイメージか。

《鳥取市》今年1市6町でストーリーを合わせていくが、DVDや映像でのPRをしていくと文化庁に話した。

しかし、「映像は文化財ではない。」「本当の祭りが文化財だ。」という指摘をうけた。キリコの場合は、申請と合わせて審査の時期までにキリコ会館をオープンし、いつでも本物の展示物が見られるという対応はあった。

本当の祭りが見えるということはストーリーの中にしっかりと書いてほしいと言われ、多種多様な踊りがあるということ、また180の団体が年間250日舞っていることを書き込んでPRさせていただいた。

《岩美町長》何とかしないと獅子頭も古くなっている。担い手に困っている。申請は、大変な苦労はあると思うが、もし認定されなくても、諦めずに再チャレンジしてほしい。

日本遺産に認定されれば、保存にも力が入る。

《若桜町長》再チャレンジしてほしい。

## (6) その他

### ○麒麟のまちオリジナルアプリについて

《鳥取市》追加資料説明

## 3. その他

## 4. 閉会